

聲明書

全国労農大衆党横浜支部は吾が組合執行委員長森淳一を「党内策謀脱走者」たるの政を以つて除名した。吾等は此を冷笑を以つて迎ふ。去る十月大阪に於て行はれたる吾が総聯合本年度大会に於て投げたる全国労農大衆党に対する批判の一端は全国的に異状なる反響を起して共同戦線党の批判は更々たる声をも以つて押し為めに全国労農大衆党は今や收拾す可らざるの混乱に陥つた。吾等は其の原因が吾が総聯合の指摘せる彼等の指導理論！、寄生生帯主義！である。即ち共同戦線党の破綻にあることを深く信するものである。此状に際し終日日和見の并度より一歩も出ずることの出来ぬ無産政党ありとせば即時解体し以て直に力業と労働者農氏の政を築成し社会改造の中堅をやらねばならぬ。

吾等は組織労働者にそが真の社会改造の中堅分子であり、従つて社会改造を指する凡ゆる政治運動の中心たるべからざる事を究明に認識するが故に過去の総聯合大会に於てその態度を宣明し今日迄のすべての無産政党と関係を以てた先ず労農組合の組織の確立を期し全無産階級政治行動の指導権を掌握し得るの力を養ふことを決定したものである。

吾等は茲に再度吾が現在の既成無産政党の何ものとも關係なきことを宣明すると共に無産階級の厂史的使命遂行の中心分子たるが為めに先づ吾が組合総聯合の組織の拡大強化に向つて一踏進するものである。右声明す

昭和六年十二月三日

日本労働組合総聯合

神奈川県組合第一回執行委員会

昭和六年十二月一日夜の政活特別委員会出席者、

坂本考三郎、佐野好男、森淳一、小林利造、宇野信次郎、皆川利吉、風岡高

次郎、新井兵太郎、高山久藏、諸君出席

議長 高山久藏

- (1) 全国労農大衆党の本年度大会を静観して態度を定める
- (2) 共同戦線党、共産主義、社会民衆主義反対を党の原則とする。この二項を決定したるが当夜の委員会に午後七時より十二時まで協議を継続し翌日二日午後二時より再会して昨日の協議の決定を再吟味す。

十二月五日辰

政治特別委員会開催、出席者、

坂本考三郎、森淳一、鈴木力藏、宇野信次郎、森脇甚一、佐野好男、木中助